

第1部

(事前収録動画約60分)

若者に身近な 依存症について

人間の前頭葉が成熟するのに必要な25~30年は、不必要と思われるようなものも含めて様々な経験をすることによって脳の配線を複雑に構築するための重要な期間です。

この時期は目新しいものに飛びつきやすく、熱中しやすいことが特徴です。かつて若者に身近な依存症と言えば、酒、タバコ、シンナーが代表でしたが、現在は市販薬・処方薬・カフェインなどの過量服用、ネットポルノ、盗撮、過食、リストカットなど簡単に気分を変えるための手段や道具があふれています。

若者に身近な依存症をどうとらえ、どのように対応したらよいかについて考えます。

WEB配信期間

令和5年

12月14日(木)

~令和6年

1月15日(月)

支援者の方だけでなく
どなたでも



要事前申込
締切：1月10日(水)

講師

(第1部・第2部とも)

藍里病院副院長
あいざと依存症研究所所長

吉田 精次

先生

(精神科医)

2019年5月にWHOが「ゲーム障害」を新たな国際疾病分類として認定してからネットやゲームの相談が増えています。

この問題を理解し適切に対応するためには

ネットやゲームが脳にどのような影響を与えるのかを知ること、人がどのように脳や心を育てているのかを知ることが必要です。

同時に人は関係性と環境に大きく影響されます。その人に起きることは関係性と環境を抜きに考えることはできません。この視点からネット・ゲーム依存を理解し、対応を考えます。

第2部

(事前収録動画約75分)

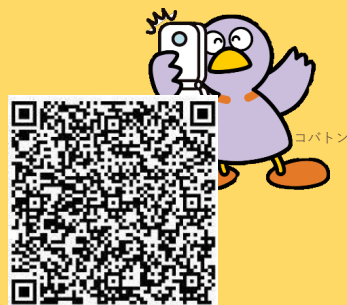
ネット・ゲーム依存の 理解と対応

令和4年度配信の講義を大反響につき再配信！
寄せられた視聴者の感想に講師からコメントをいただきました！

● 申し込み方法

① **電子申請システム**(推奨)：右記二次元コードまたは精神保健福祉センターホームページからお申込み
 (<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0606/index.html>)

② **FAX**：下記フォームにご記入の上、本用紙をFAXしてください
 FAX番号 ☎ **048-723-1561** (送信票は不要です)



※お申込みいただいた方には、後日、動画視聴に必要なURL等をメールで返信いたします。

● 注意事項

- ・個人情報の取扱い：お申込みの際に取得した個人情報は受講管理のみに使用し、他の目的には使用しません。
- ・動画視聴にかかる通信料等は、視聴される方の負担となります。
- ・本講演の録画・録音・撮影および資料の2次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断り致します。これらの行為が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただく場合がございます。

令和5年度依存症普及啓発講演会

● FAXお申込み用フォーム ●

氏名(必須)	
メールアドレス(必須)	※大きくはっきりとご記入ください
電話番号(必須)	
ご所属の所在地(必須) ※ご所属のない方は居住地	埼玉 県内 ・ 埼玉 県外
ご所属(必須) ※該当するものに ○をつけてください	教育機関 ・ 都道府県機関 ・ 市町村(保健) ・ 市町村(障害) ・ 市町村(高齢) 市町村(生活困窮等) ・ 市町村(子育て) ・ 医療施設(病院・診療所・訪問看護等) 司法機関 ・ 高齢介護分野事業所(包括等) ・ 相談支援事業所 ・ その他障害者支援施設 ・ 自助グループ ・ 回復支援施設 ・ その他機関 ・ 所属なし(関心をもってくださった方)
ご所属名	
令和4年度配信 「ネット・ゲーム依存の理解と対応」 をご覧になりましたか？	視聴 した ・ 視聴 していない



▼△▼ **埼玉県立精神保健福祉センター 企画広報担当/相談・自殺対策担当** △△▼

TEL：048-723-3333

所在地：埼玉県北足立郡伊奈町小室818-2

※土日祝日、年末年始(12月29日~1月3日)のお問い合わせには対応できません。
 ご容赦ください。